あばしり商工会議所
会議所ニュース

〒093-0013
北海道網走市南３条西３丁目
TEL 0152(43)3031
FAX 0152(43)6615

令和4年3月号
No.316

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ
https://www.a-cci.or.jp
facebook ｱﾄﾞﾚｽ
https://www.facebook.com/abashiricci

当所は経済産業省より、
※経営革新等支援機関
に認定されています。

あばしり産品を全国へ

あばしり自宅で
満喫プロジェクト

特設通販サイトＱＲ
abashiri.net

網走商工会議所
令和４年度事業策定に向け各委員会を開催！

2/24 に開催された経営委員会の様子

当所では、会員企業の発展と地域経済の活性化を目指す地域総合経済団体として様々な事業に取り組んでおり、その基本となるのは会員企業や景気動向調査から寄せられた意見や提案など、地域が抱える課題解決に向けた取り組みとなります。

その事業目的達成に必要な重要事項を調査研究するために組織する委員会は、総務財政・経営・地域振興・観光の４つの委員会となっております。

議員（60名）はいずれかの委員会に所属しており、毎年１月から各委員会で新年度事業計画の審議を進めています。

委員会審議の後、常議員会、議員総会に諮られることとなります。

経営委員会（山崎委員長）では、令和４年度「未来を見据えた経営」をテーマに事業を推進して参ります。

その一つとして、ＤＸ（※）の推進を目指し、デジタル化推進事業として、市内事業者を対象としたデジタル化推進セミナーの開催やデジタル人材育成ゼミナールとしてデジタル人材養成講座、研修会などの他、個別相談会の開催による専門家アドバイスを行う計画です。

また、脱炭素への取組として、国では２０５０年にカーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる）と２０３０年度に温室効果ガスを２０１３年度から46％削減することを目指す目標の実現に向けてロードマップを作成していることから、今後、脱炭素に関する制度改正などについて、情報収集し、会員事業所に広報することについて実施する計画を立てています。

経営委員会では、デジタル化活用と脱炭素に向け、会議のペーパーレス化など今すぐ我々ができる取り組みを実施していきます。

この後、３月10日までに地域振興・総務財政委員会が開催され、令和４年度の各位委員会の事業計画が出揃うことになります。

※ＤＸとは（デジタルトランスフォーメーション）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用。

顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

※経営革新等支援機関とは…経済産業省が創業間もない中小企業の官公需への参入促進や商品開発・販路開拓の他、経営の円滑な承継を促進するなど地域経済・雇用の担い手である中小企業・小規模事業者の持続的な発展のための環境整備などについて支援する機関。

特集

令和３年度
下半期（10月～2月）事業ダイジェスト

【経営支援】

講習会・セミナー等の開催！

各業界や様々な事業を営んでいる経営者の一助となるよう、テーマに沿った専門家を招き、講習会やセミナーを下記のとおり開催しました。

【インボイス講習会 10/6】【事業承継相談室 10/21・11/18・1/20・2/17】【2021 年度サテライト・ゼミ 10/25~10/27】【事業プロセス分析（IT 化、BCP 策定）相談室 10/5~10/7・11/9~11/11・12/14~12/16・1/11~1/15】【事業計画策定セミナー1/27】【2021 年あばしり創業ゼミナール 11/27・11/28】

若手社員研修会を開催！

12 月 3 日（金）当所において、春に実施した新入社員研修に参加された方や入社して間もない社員を対象に、仕事の振り返りを行ない日常生活の基本作りを復習し、社内におけるコミュニケーションや応用力・実行力・向上心等を高めてもらうことを目的とした若手社員研修会を開催しました。

中小企業の年末資金円滑化を市内金融機関に要望！

11 月 26 日（金）当所と網走市は連携して、市内の金融機関（網走信用金庫・北洋銀行・北海道銀行・釧路信用組合）4 金融機関を訪問し、コロナ禍の影響により、多くの事業所が疲弊していることから、地元企業が必要とする年末資金などの需要に対応していただけるよう金融円滑化に向けた要望書を手渡しました。

社交飲食業に対する支援要望活動を実施！

11 月 29 日（月）当所は、市内の飲食業関係者（網走社交飲食業組合、網走ぐるめ街活性化協議会、網走ホテル旅館組合）、網走市観光協会と共に、網走市の水谷市長をはじめ、市内官公庁９ヶ所を回り、年末年始の飲食店街等の需要期に少人数でも飲食の機会を作ってもらえるよう支援要望を行いました。

各業界の景気動向調査・確定申告等個別相談会を実施！

会員企業の経営上の参考資料としてもらう他、当所の事業運営などに活用すること等も目的に当所では４半期ごとに景気動向調査を実施しております。

【当所ＵＲＬ】https://www.a-cci.or.jp

決算処理や確定申告等の悩みや相談など、専門家による個別相談会等も実施しています。

人材不足対策支援「FM 放送を活用した就職促進事業」を実施中！

当所では、地元企業の人材確保に向けた取り組みの一つとして、会員事業所の方々に網走のコミュニティ放送局である「ＦＭあばしり」にご出演いただき会社概要や社員の採用等の他、入社の意識付けや企業ＰＲを行ってきました。

【経営支援】

令和３年度 永年勤続優良従業員・優秀従業員表彰式を開催！

11 月 16 日（火）網走セントラルホテルにおいて標記表彰式を開催しました。同事業は、会員事業所の従業員の労働意欲向上と定着を図り、企業の発展を目的に毎年実施しているもので､勤続 5 年～50 年までの表彰者と優秀従業員 1 名を含む 19 事業所 41 名の方々に対して、北村会頭より直接表彰状が手渡されました。

日本商工会議所簿記検定事業等の普及・推進！

当所では、日本商工会議所が主催する 簿記検定試験を実施しており、各種検定事業の普及・促進に努めています。

【観　光】

あばしりファン倶楽部を開催！

当所では、網走市内の企業や公務員等の転勤族の方々に網走のファンになってもらい、転勤で当地を離れた場合も網走の良さを発信してもらおうと、当地の四季に合わせた行事や文化、食などを紹介しています。12 月 14 日（火）の秋の部会では、地元の人である「土の人」と転勤族である「風の人」との名刺交換が行われる等して和やかに終了しました。

【地域振興】

網走中心市街地活性化事業の推進支援！

当所が事業推進を支援する、網走ＴＭＯ事業委員会（委員長 田中雄一）では、地域と中心市街地に明るさと賑わいを創出するため、アプト 4 内を会場に下記の取組みを実施しました。
・あったかよじょう屋台村【11/26・11/27】・ホワイトイルミネーション【11/26～2/14】
・ショーウインドウギャラリー【2/1～2/28】

【会員サービス】

当所の事業・会員情報等を会報誌やホームページでご紹介！

当所の事業活動や会員情報等、会員の皆様に必要な情報を毎月、会報誌を通してお知らせしている他、当所のホームページやフェイスブック等において常時更新しております。
◆当所ＨＰ・ＦＢアドレス
○ホームページ　(https://www.a-cci.or.jp) ○フェイスブック (https://www.facebook.com/abashiricci)

福利厚生制度の推進・労働保険事務代行等も行います！

当所では、福利厚生制度の推進として、会員事業所のみを対象とした、事業主や従業員を対象とした生命共済や、従業員の退職共済金、火災共済なども取扱っています。
また、労働保険の事務代行も行っておりますので、この機会にご活用下さい。

網走市における『景気動向調査』集計結果について

令和３年（１０月～１２月）の業況

※D.Ｉ値とは、景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化割合を引いた値です。

令和３年（１０～１２月）の業況は、前年同期比で「好転企業」27.7%「悪化企業」27.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.Ｉ値は▲0.0、前期と比較して9.8ポイント改善しました。

業種別で見た業況は、建設業が8.1%ポイント改善し4.0、製造業は23.5ポイント改善し35.3、卸売業は38.5ポイント改善し0.0、小売業は8.3ポイント悪化し▲25.0、サービス業は8.8ポイント改善し0.0と小売業以外で好転傾向を示し、特に卸売業は大きく改善しました。

次期（１月～３月）の業況判断D.Ｉ値は、今期と比べ26.8ポイント悪化し、▲26.8を予想しております。業種別では建設業が32.0ポイント悪化し▲28.0、製造業は53.0ポイント悪化し▲17.7、卸売業は変化なく0.0ポイント、小売業は21.4ポイント悪化し▲46.4、サービス業は24.1ポイント悪化し▲24.1と、第Ⅲ四半期との比較で悪化しているところが多く、見通しが立たない状況になっています。

今期の課題として「人手不足」「売上の不振」「諸経費増」を問題にしている企業が増えています。

また、今期の特徴として「同業者間の競合」「受取手形不渡」が減少傾向にあります。

全体としては、今期、Ｒ１第Ⅱ四半期から続いたマイナス水準を脱したものの、依然としてコロナ禍の先行きが見えないことから予断を許さない状況にあります。

このような中、今後も全業種において経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

〇調査時点及び調査対象期間
・調査時点：令和３年１０月１日（金）～令和３年１２月３１日（金）
・調査対象期間：令和３年１０月～１２月期実施、及び令和４年１月～３月見通し。
〇調査対象
・網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）の158社。
〇調査方法
・調査対象に調査票を送付し、ＦＡＸもしくは返信用封筒による郵送の回答。
〇回収状況

企業数／業種	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30件	25件（非小規模企業:13件、小規模企業:12件）	83.3%
製造業	24件	17件（非小規模企業:8件、小規模企業:9件）	70.8%
卸売業	20件	13件（非小規模企業:8件、小規模企業:5件）	65.0%
小売業	40件	28件（非小規模企業:13件、小規模企業:15件）	70.0%
サービス業	44件	29件（非小規模企業:17件、小規模企業:12件）	77.3%
合計	158件	112件	70.9%

注）小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業、小売業、サービス業は5人以下）を示している。

当所では、会員事業所を対象に四半期ごとに景気動向調査を実施しております。
詳細および調査結果については、当所ホームページ（https://www.a-cci.or.jp）に掲載しております。

事業継続計画（BCP）策定を推進します！

災害時の備えとなり、事業資産の損害を最小限に、早期復旧を可能とします！

◎事業継続計画（BCP）とは

・感染症や災害等の発生時においても、事業活動への被害を最小限に抑え、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における企業存続のための方法や手段等を具体的に取り決めておく計画です。

○BCP策定の必要性

・感染症や災害等の発生時においても、顧客からは平時と同様な対応が求められ、顧客ニーズを満たすためには、①何が起きたのか（自社の被害や災害による影響）、②何が足りないのか（人、モノ、資金、情報）、③何をいつまでにしなければならないのか、を短時間で迅速に把握し、スピードある対応を行う必要がある。
活用できる経営資源が限られている緊急時に、BCPを策定し、それを遂行することで復旧スピードに大きな差が現れる。

○BCP策定・運用による効果

・BCPを策定し、運用していくことにより危機対応能力の向上に加え、取引先との関係強化や経営の効率化等、企業価値の向上に繋がります。

○BCP策定に向けて

◆国の計画認定制度

・検討項目が簡略化された取り組みやすい制度で、経済産業大臣の認定を受けることで、税制優遇やものづくり補助金の加点などの支援を受ける事ができる。

◆道の支援メニュー

・道内中小企業の事業継続力の強化を後押しする策定支援セミナーをオンライン開催。
・中小企業総合振興資金（防災・減災貸付）－ BCP又は事業継続力強化計画を策定した中小企業者等が、その計画に基づき、設備の改修や整備などに取り組む際に活用可能な融資制度。
・専門家派遣事業など

■BCPの詳細について

独立法人中小企業基盤整備機構HPサイトに掲載（https://kyoujinnka.smrj.go.jp/）

※当所において相談を承っております。（☎0152-43-3031）まで

Go To Eat 北海道お食事券「販売・利用期限延長」「利用制限継続」のお知らせ！

北海道の「まん延防止等重点措置」の適用期間が延長されたことに伴い、販売期限・利用期限が下記のとおり変更されましたのでお知らせいたします。

◎販売期限

延長：令和４年３月上～中旬頃まで（現行２月 25 日（金）まで）

◎利用期限

延長：令和４年４月上～中旬頃まで（現行３月 25 日（金）まで）

◆店内利用制限の継続

「テイクアウト」「登録店が自ら行うデリバリー」のみ利用できます。
継続期間：令和４年３月６日（日）まで （まん延防止等重点措置の適用期間中）

※現在、「販売期限・利用期限」について調整中。
詳細が分かり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

○参考ＵＲＬ（https://gotoeat-hokkaido.jp/）
※お問合せ先は、Go To Eat お食事券利用者用お問い合わせセンター（☎011-350-5922）

会員事業所紹介！

事業所名
㈲ヤマニ・カシハラ

代表取締役　山本 秀明（やまもと ひであき）さん
事業内容　小売業（建設資材等）
住　　所　網走市藻琴210－36
連 絡 先
（TEL）0152-46-2411
（FAX）0152-46-2425
営業時間　8:30～17:30
定 休 日　日曜日

◆開業のきっかけ

昭和49年4月、女満別において、前事業主、樫原二朗氏が個人で同社を開業。

その後、昭和53年12月に法人化。

平成10年7月には網走営業所を開設し、現代表の山本秀明氏が代表取締役に就任。

令和3年7月、女満別本社を閉鎖し、網走を本社としました。

◆事業内容

創業当時より、建築、土木、仮設資材の他、電動工具、保安用品、事務機器、測量機器の販売の他、足場材の販売、建築資材等のリースも行っています。

また、様々な業種で使用されているフレキシブルコンテナバック※（建築資材袋としたり、農家で肥料袋としたりする袋）や各種シート類等を取り揃えていることから様々な業種の企業との取り引きも多いとのこと。

◆今後の目標

「事業の安定を目指し、デジタル化に力を注いでいく他、地域の総合商社として無くてはならない存在となるのを目標に営業中です。

更に取引先の業況に影響されない企業となっていけるよう企業努力を行い、地域や市内のボランティア活動にも積極的に参加しています。

次世代の若者が入社したいと思ってもらえるような会社にしたい」と語ってくれました。

会社の外観

事業所名
オホーツク自然堂（じねんどう）

事 業 主　梅林（うめばやし） 弘道（ひろみち）さん
事業内容　観光案内業（ガイド）
住　　所　網走市中園267-14
連 絡 先
（TEL・FAX）
0152-46-2777
営業時間　24時間いつでも
ネット予約可能
URL（https://www.jinendo.net/）

◆開業のきっかけ

事業主の梅林さんの前職はコピーライター。

学生時代に訪れた時にオホーツクの豊かな自然や文化、食の素晴らしさに魅了され、妻の歌奈子さんと共に網走に移住することを決意されたそうです。

平成16年に北海道へ移住。

当時、網走にネイチャーガイドがいなかったため、この地の自然の魅力を多くの方に伝え守っていくパイオニアになれたらと考え、網走での観光ガイドを始めました。

◆事業内容

網走国定公園や知床国立公園など、道東オホーツクエリアでのんびりと自然に親しんでいただけるようなガイドを心掛けているそうです。

1時間半ほどの気軽な体験から1日じっくりと自然を満喫できるディープなツアーなどを受付中です。

◆今後の目標

「これまで注目されてなかった氷瀑を見に行くスノーシューや地元の遊びであるワカサギ釣りを網走の新たな魅力としてツアー化してきました。

また、オホーツクの自然に配慮しながら、その素晴らしい魅力を伝えていく他、今後も多くの方に網走の自然を楽しんでもらえるように創意工夫しながらプロの自然ガイドとして取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします」とのことでした。

公式サイト

ネイチャーガイドの様子

創業50年 オホーツク海の豊かな海の幸を全国に発信

㈲牛渡水産

㈲牛渡水産
代表取締役
牛渡 貴士 氏

大正5年、創業者である牛渡正身氏（現代表の祖父）は網走能取で誕生。

昭和47年、網走市内の漁業が活気良く賑っていたことや水産加工業を営む親類も多くいた影響もあり、自ら㈲牛渡水産（水産加工業）を設立。

幼い頃から魚介類の素材の良さを引き出す加工技術や、当時、原材料が安価だったこともあり、経営も順調に軌道に乗せることができたそうです。

その後、昭和53年には、牛渡正敏氏（現代表の父）が2代目に就任。

しかし、市内の漁獲高も年々減少し、仕入価格も高騰する中、この状況を打開しなければ企業として生き残ることが難しくなると判断。

未来に向けて、新しい商品〝モノ〟づくりを課題に取り組み、それを毎回クリアしていくことに挑戦してきたそうです。

その中で、時にはお客様から頂くヒントもあれば、社員と話し合って決めることもあり、その過程が楽しくもあり苦労する部分でもあるとのこと。

現在も、お客様などのニーズに応えるため、新たな商品開発に奮闘中で原材料も高騰していることもあり、これまで利用価値が無かった部位なども試行錯誤し、美味しく食べてもらえるよう付加価値を付けて商品化しているそうです。

特に網走市の特産品として有名になったケダマ（毛ガニの全部盛り）は、網走産の毛ガニに拘り、素材の美味しさを気軽に味わってほしいとの思いから開発された商品で、全ての工程を職人さんが手作業で行っています。

そのようなことが評価され、モンドセレクション２０１８年～２０２０年の３年連続最高金賞を受賞。網走市のふるさと納税の返礼品としても大人気となっているとのこと。

その他にも少ない資源の中、網走産の特選干物や釣きんき、藻琴産の至宝牡蠣、いばらがにの内子・外子など数多くの商品を取扱っています。

公式サイト

令和３年には、現代表、牛渡貴士氏が３代目に就任。

「私共は、網走という大自然に恵まれた環境の中で仕事をさせていただいております。

この恵まれた環境で獲れた商品を世界に発信することで、微力ながらも市内観光が活気づき、自然保護の重要性等にも目を向けてもらえるきっかけとなればと思っています。

これから、若い世代が安心して暮らせる環境づくりにも貢献して参りますので、引き続きよろしくお願い致します。」と語ってくれました。

㈲牛渡水産（事務所・工場）

網走商工会議所3月のスケジュール

◆ 1日（火）・オホーツク食品開発研究フェア2022（オンライン）
◆ 2日（水）・オホーツク地区における地域経済・金融懇談会（オンライン）
◆ 3日（木）・地域振興委員会
◆ 8日（火）・第185回北海道商工会議所連合会常議員会
・第195回北海道商工会議所連合会会員総会合同会議
◆10日（木）・網走商工会議所青年部役員会
◆16日（水）・常議員会
◆17日（水）・事業承継相談室
◆23日（水）・通常議員総会
◆24日（木）・令和3年度第2回「網走観光戦略会議」
◆25日（金）・令和3年度第4回「網走観光戦略会議幹事会」
・人手不足対策セミナー
◆29日（火）・経営安定特別相談室セミナー

当所の会員拡大（組織力向上）にご協力を‼

☆新入会員様のご紹介をお願い致します！

当所では、網走地域において事業を営む方々の意見を集約し、要望活動や各種事業を実施している他、地域振興や社会福祉の推進を図る他、企業における経営・税金・金融等、会員事業所の経営上の悩みをサポートする様々なサービスなどを行っています。

地域の力が商工会議所の力になり、地域経済の力となります。

是非、この機会に未加入事業所の情報提供およびご推薦についてご協力願います。

※詳細、お問合せは当所（☎0152-43-3031）まで